

市民意見交換会（5月19日） 議事要旨

日 時	平成 30 年 5 月 19 日（土）午後 7 時 00 分から 8 時 00 分
場 所	不二羽島文化センター 201 会議室
出席者	〔市関係者〕 松井市長、成原副市長 事務局：橋本総務部長、入山新庁舎建設推進課長、黒田同課専門官、山田同課係長 株式会社佐藤総合計画中部事務所：3 名 〔参加者〕 24 名
会議録	<p><u>1 開会・あいさつ</u></p> <p>総務部長から開会の挨拶。</p> <p>羽島市長から挨拶。</p> <p><u>2 意見交換</u></p> <p>事務局： 羽島市庁舎の課題・問題点、新庁舎の必要性、これまでの経緯、新庁舎建設の基本構想・基本計画(案)について、説明を行う。</p> <p>事務局： 事務局の説明に対して、意見があれば発言を求める。</p> <p>市民： 質問は3点あります。 まず1点目は、免震構造は液状化にしっかり対応できますか。液状化現象に一番強いのはどの構造ですか。 2点目は、駐車場台数を一般来庁者用に150台、公用車用に100台を設定していますが、この中に市役所職員用の駐車場は含まれていますか。 3点目は、本体工事と外構工事の違いを教えてください。</p> <p>事務局： まず1点目、免震構造の液状化への対応ですが、免震構造でも耐震構造でも制震構造でも、どの構造でも液状化対策をする必要があります。また、免震構造のメリットは、他の構造より地震の揺れが小さく、一番被害が少ないということです。 2点目ですが、現在、今の駐車場台数は一般来庁者用約160台、公用車用約100台、職員用は、分散していますが約200台程度となっています。ですので、職員用駐車場は足りませんが、北庁舎や中庁舎を取り壊すなど、計画的に確保したいと考えています。 3点目ですが、本体工事というのは新庁舎本体の工事で、外構工事というのは、駐車場やフェンスといった敷地内の新庁舎本体以外の工事ということです。</p>

市民：

窓口機能のことで要望ですが、市民の利用頻度が高い本庁舎 2 階にある市民課、保険年金課、税務課に福祉関係も加えていただき、市民の方の移動が少なくすむように、1 階に窓口機能を集めていただきたいと思います。

また、窓口に関わる方は、以前市役所に勤めていた職員さんを活用していただき、政策を考える方として職員を中心においていただきたいと思います。

あと、庁舎の単価は安ければ良いかもしれませんが、羽島市の象徴となるデザインも必要かもしれませんが、奇抜な変わったデザインよりは、長期的な利用を考えたデザインをお願いしたいと思います。

事務局：

現在、新庁舎建設に向けて、市役所内で 5 つの部門でワーキングチームを作りました。窓口機能は、窓口チームが検証・検討しております。また、オフィスレイアウトの専門業者によるレイアウトの調査もしており、市民目線での配置・集約化も考えております。

また、デザインについても、ご意見を参考にし、検討させていただきます。

市長：

少し補足させていただきますが、新庁舎の計画以前に行政改革の一環で、総合受付の設置を検討しており、既に先行して、総合窓口システムを今の庁舎でも考えましたが、市役所の 2 階を中心としたなかでは福祉関係まで入りませんでした。新庁舎では、ワンストップサービス、コンシェルジュの設置など、総合窓口で、市民の方々に来ていただきやすく、更には、高齢者・障がい者の方に便利となるようなレイアウトを既に同時並行ですすめております。

また、人材確保の関係では、病院職員、消防職員を除く市役所内の一般行政職員の総数は約 310 人で、そのうちのおよそ 3 分の 1 が女性職員です。そのような構成のなかで、窓口職員の適正数を、今後の行政需要、行政ニーズがどのくらいあるかなど、専門的な調査・分析とともに、市の内部でもワーキングを設けて検討しております。先進事例としては、岐阜市役所は窓口対応を、新聞報道によりますと、全面民間委託しました。このようなケースもありますので、行政改革、組織、部や課の再編成も検討しております。

また、OB 職員の雇用については、専門的な知見を活かしていただける人材活用として有効的であると考えています。

市長：

新庁舎の位置は、市役所敷地の高低差を考慮し、地盤の高い南側へ建設することを、建設委員会からご意見としていただきました。また、昭和 56 年以降の情報・防災庁舎や保健センターは安全性が担保されているので、新庁舎とあわせて一体的な有効活用が図れるよう検討をすすめております。

概算事業費は約 50 億円とっておりますが、今後の原油価格や建築資材の高騰、人件費の高騰なども考慮し、経費積算についても精査していきたいと思っております。

また、開かれた庁舎といいましても、全てのご要望を 100%受け入れることができません。皆様のご意見を賜りながら、いろいろな各種団体も回りまして、ご意見を取り入れられるものと、厳しいものと、正直に検討していき、市民の方々にご納得いただけるような建築計画をたてていきますので、よろしく申し上げます。

以上で、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

3 閉会

以上